

13. 0. 47  
109

寫

働者の心から叫ばれてゐるではないか。労働者、農民、小市民のあらゆる不平要求の爲に死力を以て戦ひ来た我が新党組織準備会は眞先に之を全勢力を以て諸君と応援するものだ。暴風の様な弾圧に抗し、この様な資本家を打ち倒す爲に諸君と生死を共にして戦ふものだ。諸君も骨までしゃぶらうとしてゐる東電は更に一千四元價一兆三千万電力を一般市民に供給せよ。三棒五倍で賣りつけて市民もふところをカスメ取つてゐるのだ。富山、高岡、伏木、福知山、を見よ。消燈を以つて、つう欲を電燈會社と戦つてゐるではないか。新党組織準備会は高きを以て「電燈料を三割低下しろ」は全東京市民の心からの要求だ。この市民の要求を代表して諸君がその先頭に立ち、勇戦の戦ひに依つて全市民があくまで諸君と支持するのだ。

東電後輩負諸君！！

カツシリと敵を組め！ 俺達は諸君と生死を共にして戦ふぞ！

△伊藤、仲君の首を取り消せ。 △労働者を奪還しろ

△待遇改善要求を即時承認せよ。 △新党組織準備会に集れ

△電燈料を三割低下せよ。

一九二八年八月三

新党組織準備会 深川支部  
(深川区門番山本町八)

券秘第九六三號  
昭和三年八月二十日

影言 視 總 監 官 田 光 雄

内務大臣 望月圭介殿  
社 會 局 長 官 殿  
北海道 京都 大阪 神奈川  
兵庫 愛知 静岡 福島 千葉  
新泻 各廳 府 縣 長 官 殿

関東電氣労働組合ノ爭議計畫ニ関スル件

(第十六報)